

レニショーの新しい REXM 高精度角度位置決め用エンコーダは、究極の角度位置決め計測を実現します

最高の角度位置決め精度が求められるアプリケーション用に開発された REXM 角度位置決め用エンコーダは、 ± 1 秒以下の取付精度に高い繰返し精度を備えると共に、結合部のカップリングロスを排除しており、新しいレベルの角度位置決め計測を実現します。

RESM と同様、REXM のステンレススチールリングの周囲には目盛が直接、刻み込まれています。しかしながら REXM は、偏心を除くあらゆる取付誤差を低減するために、断面を厚くしています。

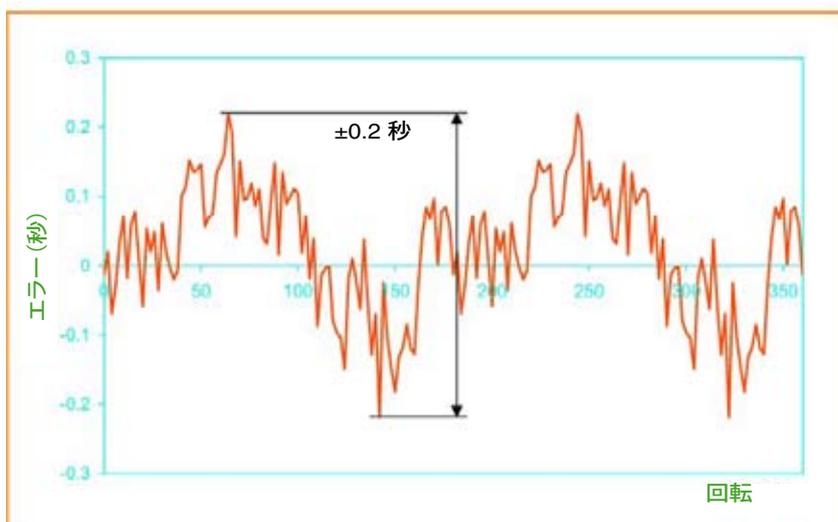
残る偏心(回転周期にともなう誤差)は、2 つのリードヘッドの出力を組み合わせることで簡単に補正することができます。レニショーの新しい DSi(デュアル SiGNUM™ インターフェイス)は、客先でプログラミングが可能な、繰返し精度を備えるリファレンスマーク *propoZ™* 位置を提供すると共に、2 つのリードヘッドの出力を組み合わせます。DSi により偏心が排除されると、残る誤差は目盛誤差と SDE(サブディビジョナルエラー)のみとなりますが、これらの誤差はいずれもごくわずかです。



REXM に DSi を使用すると、 ± 1 秒以下の取付精度を確保することができます。183mm の REXM リングに対して行った試験では、 ± 0.22 秒という素晴らしい取付精度が実証されています。

さらに、REXM は SiGNUM™ エンコーダのダイナミックな性能を維持しています。非接触式の REXM リングは、ローターに直接固定できるため、密閉式のエンコーダに見られる結合部での信号損失、振動、シャフトの振れ、その他のヒステリシス誤差を排除します。

www.renishaw.jp/encoders



一般的な REXM システムの取付精度は ± 0.22 秒が実証されています(取付軸を順に回転した値を繰返し精度の高い参照水準と比較して分析)。